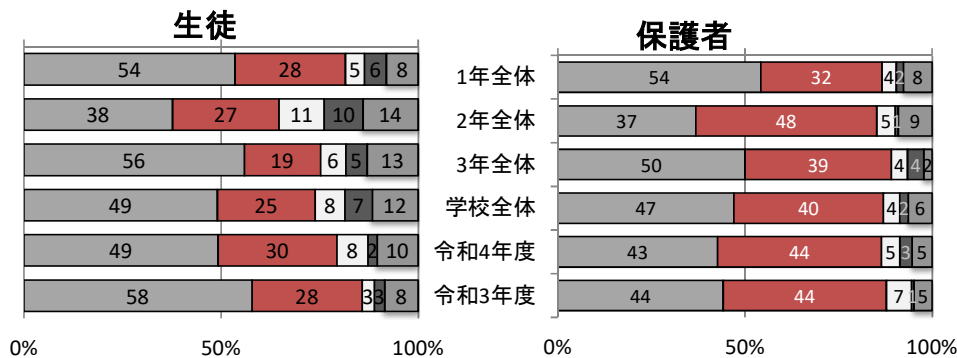


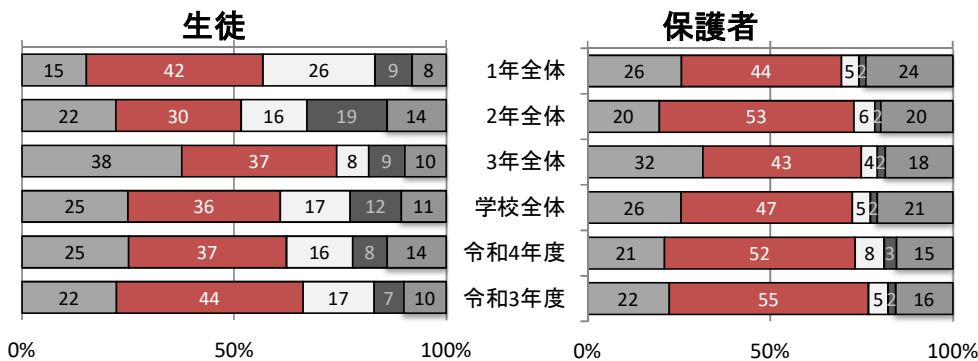
令和5年度 赤羽根中学校学校評価アンケート集計結果

1 お子様が(あなたは)、赤羽根中(赤中)に入学して良かったと思いますか。



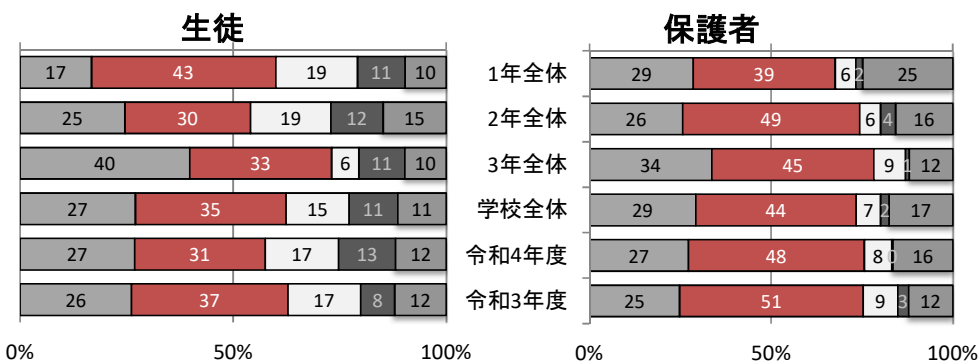
保護者の回答では概ね肯定的な評価が安定しているが、生徒の回答の傾向に差が見られることについては、注視していく必要があると受け止めている。生徒の思いもくみ取りながら、今後もみんなに愛される赤羽根中をつくっていききたい。

2 赤中の学校教育目標は、「知、徳、体の調和のとれた人間になろう。」ですが、学校は教育目標達成のための努力をしていると思いますか。(あなたはそのことを意識して行動していますか。)



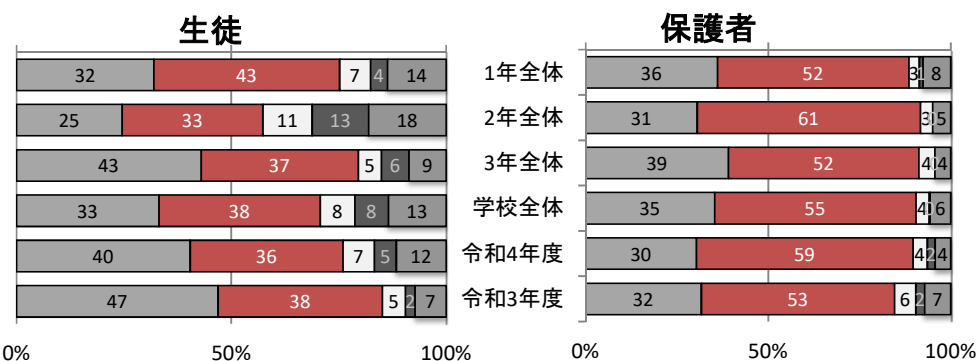
学年が上がるにつれて学校教育目標が身についていると実感している生徒が多い。生徒主体の行事運営などを通して、自信がついてきている表れであると考えられる。今後も生徒主体の運営スタイルを継続していく必要があると考えている。

3 赤中は、いろいろな活動を通して、積極的に地域との交流に取り組んでいると思いますか。



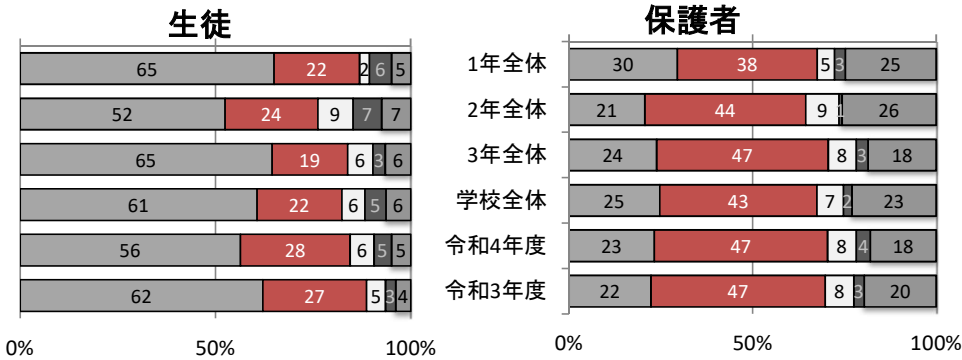
コロナ禍を越えて昨年度からふれあい講座も復活し、地域の方とのつながりも戻ってきている。今後令和7年度からCS(コミュニティスクール)が発足することも踏まえて、地域と連携できる機会を増やししながら生徒の学びの機会を豊かにしていきたい。

4 赤中は学年学級懇談会や面談・教育相談などを通して、家庭と連携を取り合い協力して取り組んでいると思いますか。



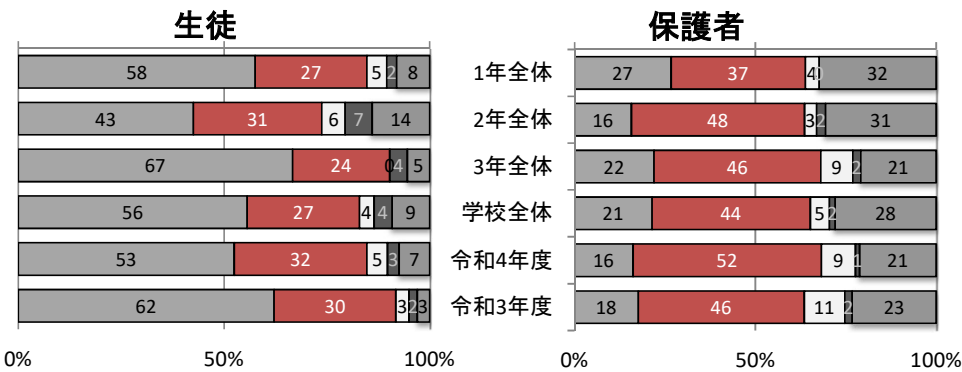
保護者の希望面談も取り入れて教育相談を行っているため、全体的には肯定的な意見につながっていると考えられる。今後も子どもの成長を学校・家庭が連携を取りながら支えていきたい。

5 赤中の授業には、生き生きと学べる雰囲気があると思いますか。



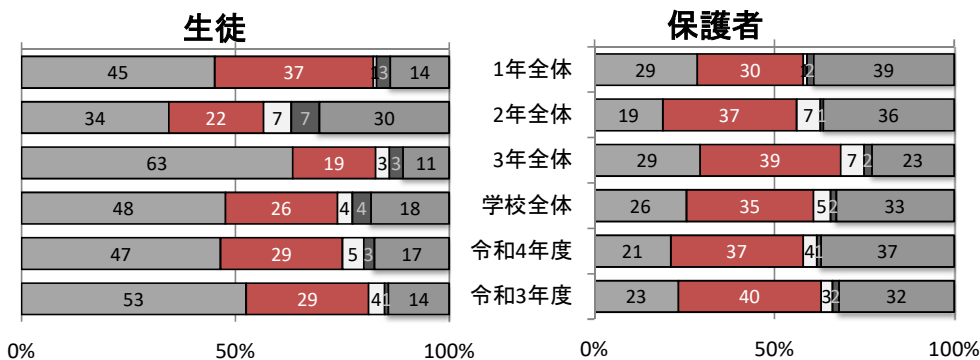
授業研究の成果があるとともに、小和田小学校で培われた風土でもあると思うのでそのバトンを引き継ぐことが今後も大切だと思う。今後も、生徒が主体的に活動に取り組み、生徒がさらに生き生きと活動できるような雰囲気を作っていきたい。

6 赤中の教員は(先生方は)、わかりやすい授業をすることに努めていると思いますか。



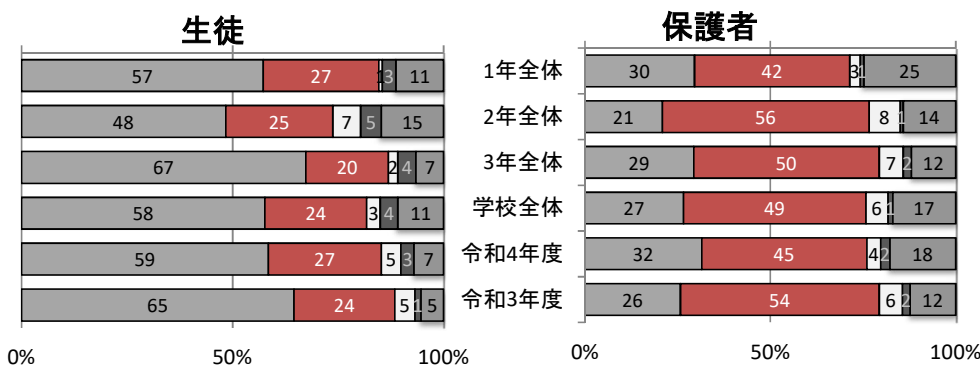
校内研究などを実施する中で、分かりやすい授業を探究している成果として受け止め、今後も研究テーマに沿った授業を展開していきたい。また、学校がどんな研究に取り組んでいるのかを、保護者にもっと知っていただける機会を増やしていくことが課題である。

7 赤中の教員は(先生方は)互いに協力し合って仕事をしていると思いますか。



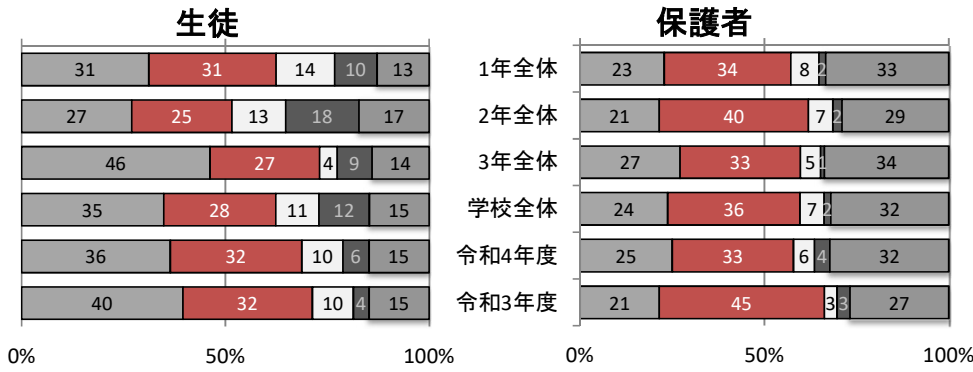
今まで以上に職員間で連携をとって仕事をしていきたい。また、職員が協力して教育環境を作りあげている姿を、生徒に対して、もっと伝えていくことも必要だと考えている。

8 赤中の教員はテストの得点だけでなく、いろいろな面(定期テスト、レポートや宿題などの提出物、実技試験などで)から学習の評価を行っていると思いますか。



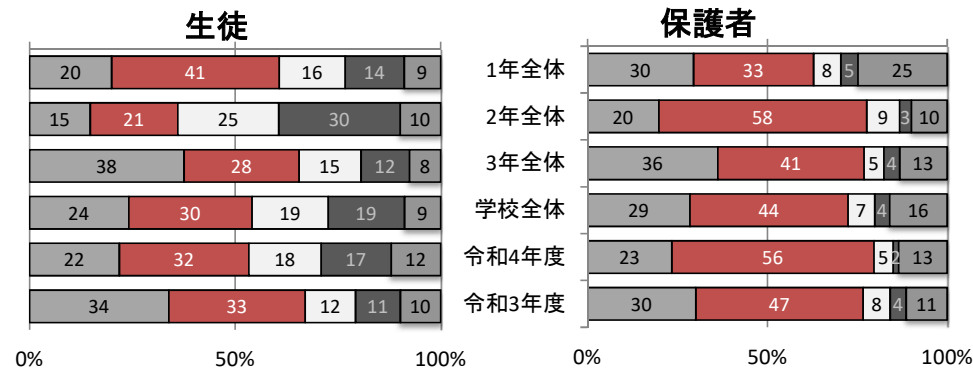
今の学習評価の考え方や基準の伝わりやすい示し方などが今後も課題であると考えます。学習指導計画を年度当初だけ扱うのではなく、日々の学習場面や期末の評価・評定をお伝えする際にも説明していきたい。

9 赤中の教員は(先生方は)、いじめや暴力をなくすように取り組んでいると思いますか。



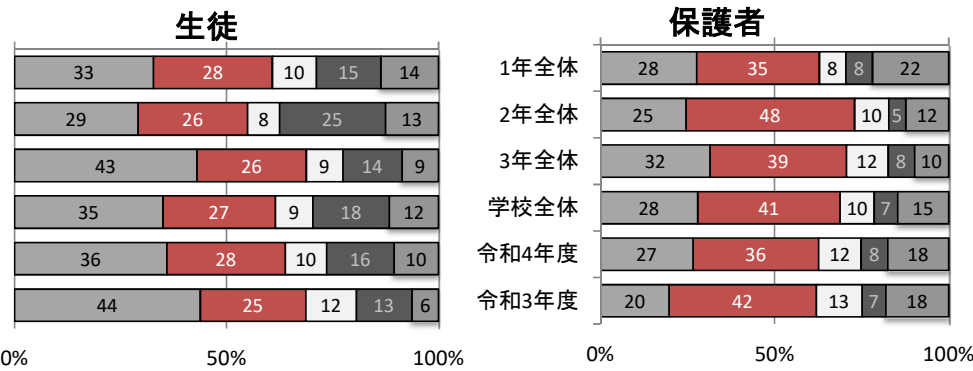
いじめの様態は、社会の変容や個々の生徒の個性や状況等によって様々なパターンがあるので、教員間のもの見方や日々の情報のやり取りが大切であると思う。今後も、定期的にアンケートをとり、それを基に教育相談や個別面談を行っていく必要があると考える。

10 赤中の校則などのきまりは適切であると思いますか。



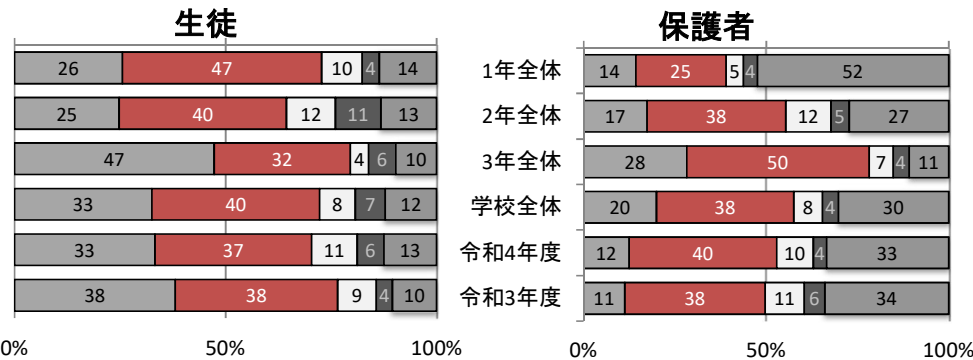
ここ1~2年で服装に関するルールについて特に議論されるようになってきている。今の生徒をみていて多様性を受け入れようという考えが浸透してきているところもあり、多様性とルールや決まりに挟まれている現状があるようにも思える。今後も、ルールの意義や価値について主体的に考えさせる場をもうけるとともに、教員側もどのように運用すべきか、考え議論することが求められていると感じています。

11 お子様は(あなたは)、相談事や心配なことがあったときに相談できる先生がいますか。



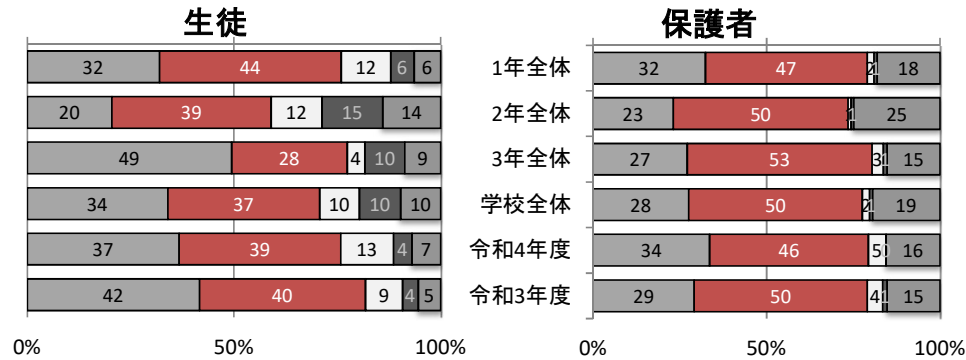
一人ひとりの生徒が抱える悩みや心配ごとは多様であり、求めている支援のあり方もさまざまである。日常の学校生活でのかかわりの中で、適切な距離を保ちながら、話しやすい雰囲気醸成していきたい。

12 赤中では、進路指導やキャリア教育(職業観の育成)に努めていると思いますか。(いろいろな進路や職業について理解できるような学習をしていると思いますか。)



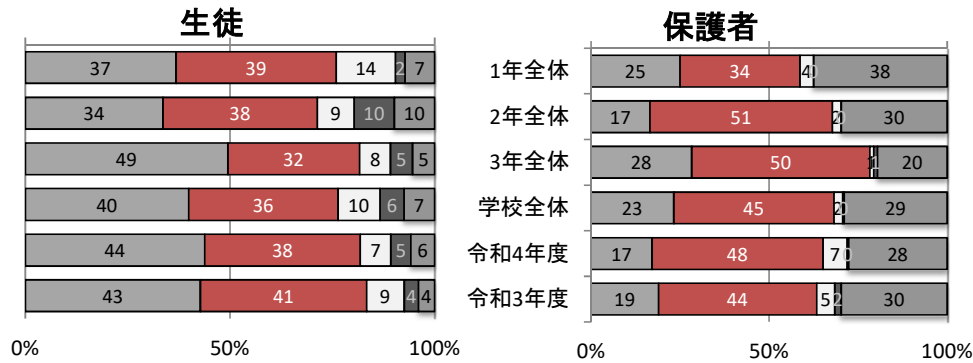
職業調べ(1年生)や職場体験(2年生)など生徒自身が将来をイメージできる活動を積み上げていくとともに、生き方をよりよく選択し社会的な役割を担おうとする態度やそのための力が醸成されるよう、さまざまな場面でのかかわりの中での丁寧な価値付けを心がけていきたい。

13 赤中では、校内の美化活動に積極的に取り組んでいると思いますか。



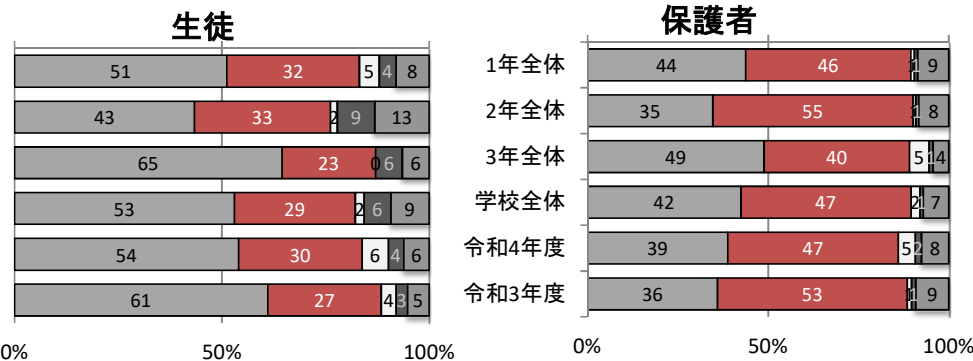
生活環境を整える意識を醸成することは、学校教育に限らず大切なことだと考えている。今後は、委員会活動の活性化を図り、道具と方法を工夫して、日常の活動のなかで意識向上に取り組みたい。

14 赤中では、災害時や不審者への対応について、適切な指導をしていると思いますか。(どうすればよいか理解していますか。)



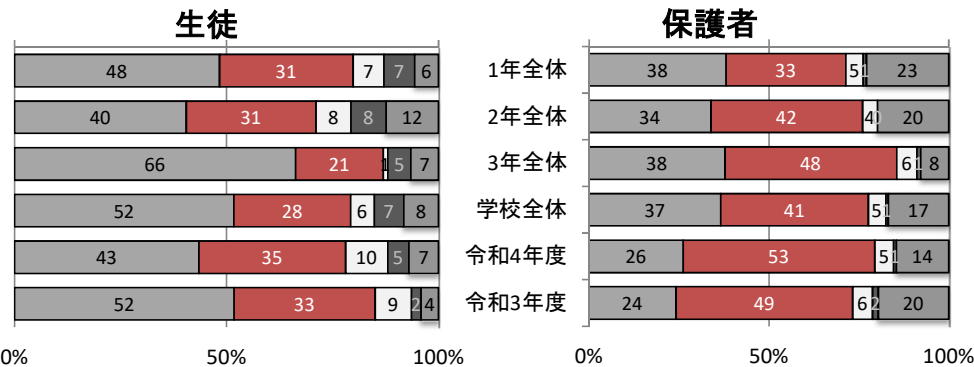
例年、年間計画に位置づけながら、災害時(火災・地震)にどのように避難したらよいのかを、訓練を通して周知している。不審者対応を含む安全教育については、機会を捉えて指導してきているが、今後に向けて改善を図りたい。

15 赤中では、体育祭や生徒会活動を通して、お子様の自主性を育てる努力を行っていると思いますか。



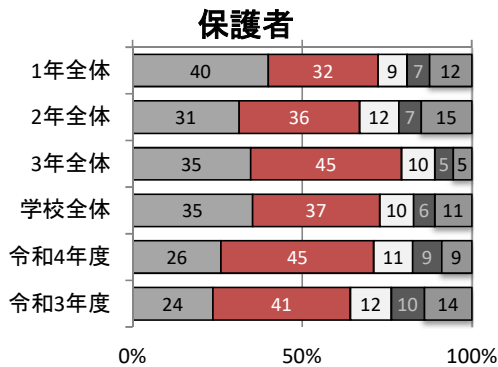
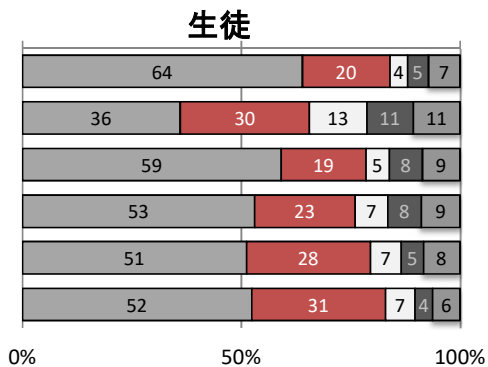
行事など、生徒が主体的に活動する場面を見ていただくことを通して、保護者にも取り組みが伝わっていることがうかがえる。学校の取り組みを発信することを心がけながら、今後も生徒が主体的に活動に臨めるように導くことが大切だと考えている。

16 赤中(あなた)の学級活動は活発で、クラス全体で積極的にかかわっていると思いますか。



ご家庭での会話などから学校の様子を把握されていると思うが、学校としても、よりよ連携につながるよう、日々の学校の様子が保護者に伝わるよう、学年・学級通信等を通して発信していきたい。また、生徒一人ひとりが意欲的に活動に迎えるような風土を醸成していきたい。

17 赤中は(赤中の生徒や先生は)、部活動に積極的に取り組んでいると思いますか。



学校教育としての部活動は、生徒一人ひとりの自主性や主体性を育む機会であり、参加についても個々の生徒の興味関心に委ねられている。学校の規模や施設による限界もあるが、意欲を持って参加している生徒の活動の場を存続しながら、地域移行も含めた今後の動向を注視していきたい。